

製品安全データシート

JH-I31

作成 : 2018/2/19  
改訂 : 2022/9/1

● 項目1 化学品及び会社情報  
化学品の名称

JH-I31  
シランカップ剤  
3-Chloropropyltrimethoxysilane  
ガンマ-クロロプロピルトリメトキシシラン

会社名  
住所

Hubei Jiangnan New Materials Co.,Ltd. 湖北江瀚新材料股  
No.36,Qunli Road,Shashi Economic Technology Developing Zone,  
Shashi District,Jingzhou City,Hubei,China 434005

担当部署  
担当者(作成者)  
電話番号  
FAX番号  
メールアドレス  
緊急連絡先番号

+86-716-8377819  
+86-716-8377812

販売代理店  
住所  
電話番号  
FAX  
メールアドレス  
HP

サンケミカル株式会社  
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング  
03-3661-6681  
03-3661-7055  
yano@sun-chemical.co.jp  
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意  
シランカップリング剤

★ 項目2 危険有害性の要約  
GHSの分類

物理化学的危険性: 分類できない

健康に対する有害性: 分類できない

環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険) > 4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

- GHSのラベル要素
- 絵表示又はシンボル
- 注意喚起語 無し
- 危険有害性情報
- 注意書き

**【安全対策】**

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
P305+P351+ 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

S26 眼に接触したら、直ぐに多量の水で洗い流すこと。  
S39 眼と顔の保護具を着用すること。

**【応急措置】**

吸引した場合 新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸がない場合  
人工呼吸を施す。

皮膚に付着した場合 多量の水と石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合 多量の水で15分間洗い流し、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 意識のない患者の口に何も与えないこと。  
口をゆすぐこと。

**【保管】**

換気の良い涼しい場所で容器を密閉し、保管すること。  
不活性ガスの元で保管すること。  
湿気に影響しやすいので、注意すること。

**【廃棄】**

アフターバーナーとスクラバーを備えた化学用焼却炉で焼却する。  
処分場所の法令を遵守すること。  
廃棄物業者に連絡をとること。

**項目3 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別

工業純品

化学名又は一般名

ガンマ-クロロプロピルトリメトキシシラン

別名

3-Chloropropyltrimethoxysilane

化学特性

下記に記載

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

その他含有物	cas	EC	濃度	化審法
3-Chloropropyltrimethoxysilane	2530-87-2	219-787-9	≧98.0%	2-2079
Propyltrimethoxysilane	1067-25-0	213-926-7	≦1.5%	2-2052
methanol	67-56-1	200-659-6	≦0.5%	2-201

---

#### ▲ 項目4 応急処置

吸入した場合	吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護	データ無し
医師に対する特別な注意事項	データ無し
毒劇物の場合、解毒剤	非該当

---

#### 項目5 火災時の措置 職場のあんぜんサイトから引用

消火剤	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の措置に関する特有の危険有害性	燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 爆発の可能性があるので、壁に隠れて消防を行うこと。 熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。

#### 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋  
安全グラス  
保護具  
自給式呼吸器の着用

---

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

保護具を着用すること。蒸気、ミスト、ガスの吸引を避けること。  
換気の良い状態を確実にすること。  
着火源を近づけないこと。蒸気が蓄積しない様にする。こと。  
作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項

下水、環境に排出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を取り、防電処理の掃除機か、濡れブラシでかき集めて、  
処理容器に入れる。  
使用場所の規制に従い、処理すること。

少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、  
残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、  
安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

有害でなければ、火気、換気などに充分注意して蒸発、拡散させる。  
又は、散水して蒸発を促進させてもよい。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

非活性物質で吸収し、危険廃棄物として処理すること。  
密閉した適切な容器で処理すること。

二次災害の防止策

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。  
火花を発生しない安全な用具を使用する。  
回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密封しておく。

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策  
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、  
保護具を着用する。  
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

皮膚と目の接触を避けること。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること、アースをとること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱後は手などをよく洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
火気厳禁

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。  
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件

換気の良い涼しい場所で容器を密閉し、保管すること。  
不活性ガスの元で保管すること。  
湿気に影響しやすいので、注意すること。

近づけてはいけないもの

酸化剤、強酸

安全な保管保管包装材料

元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版) 未設定  
ACGIH(2005年) 未設定

設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。容器を接地すること、アースをとること。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること
呼吸用保護具	リスクアセスメントで、空気浄化呼吸機器が適切な場所では、multipurpose combination (US) か、type ABEK (EN 14387) の呼吸器の保護具を予備として所持しておく。もし呼吸機器が唯一の保護方法の場合、顔を覆う酸素を供給する呼吸器の保護具を着用すること。呼吸器の保護具はNIOSH(US)かCEN(EN)認定の物が望ましい。
手の保護具	(EU Directive 89/686/EEC)(EN374)の規格に合致したもの。使用前にテストをし、汚れたものは処分すること。
眼の保護具	顔を覆う保護具と安全ゴーグル NIOSH(US)かEN166(EU)の基準に適合した保護具が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	不浸透、防火防電の保護具。 保護具は職場の曝露濃度に合わせて選択することが望ましい。
特別な注意事項	産業衛生を遵守し、安全に取り扱う。 毎回食事の前、作業終了時に手を洗うこと。

---

項目9 物理的及び化学的性質	
物理的状态	液体
色	無色
臭い	データ無し
融点・凝固点	データ無し
沸点又は初留点及び沸騰範囲	195°C (760mmHg)
可燃性	
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	5.5~44 vol.%(職場のあんぜんサイト)
引火点	> 70°C(密閉)
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	10
動粘性率	3.1mm <sup>2</sup> /s (static 20°C)
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データ無し
蒸気圧	< 5mmHg (25°C)
密度及び/又は相対密度	1.0800g/ml (20°C)
相対ガス密度	6.85 (Air=1.0)
粒子特性	データ無し
その他のデータ	
屈折率	1.419 (25°C)
蒸発速度	7Pa (25°C)

---

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	引火点以上の場合、可燃性と爆発性の危険がある。
化学的安定性	通常の条件の下で安定している。 湿気と水で分解するおそれがある。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけない事。 引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。 粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。
混触危険物質	酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物 その他	一酸化炭素、一酸化窒素、酸化ケイ素

---

★ 項目11 有害情報  
オリジナルSDSの記載

急性毒性

LD50/経口/ラット/6670mg/kg  
LD50/経皮/ラビット/3059 mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性

データ無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

ウサギの眼に重篤な刺激がある

呼吸器感受性又は皮膚感受性

アレルギー反応を引き起こすおそれがある

生殖細胞変異原性

データ無し

発がん性

IARCで、発がん評価されている物質を0.1%以上含有していない。

生殖毒性

データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露

データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露

データ無し

誤嚥有害性

データ無し

その他

吸い込むと有害。呼吸器に刺激。  
摂取すると有害  
皮膚から吸収される。皮膚刺激がある。  
眼に入ると重篤な刺激がある。  
曝露の兆候と症状  
確認できる限り、化学特性は完全に調査されていない。  
RTECS:VV2680000

---

項目12 環境毒性情報

生態毒性

データ無し

残留性・分解性

分解する

生態蓄積性

データ無し

土壤中の移動性

データ無し

オゾン層への有害性

データ無し

他の有害影響

データ無し

---

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

アフターバーナーとスクラバーを備えた化学用焼却炉で焼却する。  
処分場所の法令を遵守すること。  
廃棄物業者に連絡をとること。

汚染容器及び包装

危険廃棄物として処分すること。

---

項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

品名(国連輸送名)

非該当

非該当

国連分類  
(輸送における危険有害性クラス) 非該当

容器等級 非該当  
海洋汚染物質 非該当  
(該当・非該当)

MARPOL73/78附属書II及び  
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質  
(該当・非該当)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他  
応急措置指針番号 非該当

---

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象物質 非該当 通知表示対象物質 メタノール 該当 2025年4月に 通知表示対象 ガンマクロプロピルトリメトキシシラン 該
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	該当なし
消防法	第4類第3石油類水溶性液体(4,000L) 危険等級III (16918の化学品)
化審法	既存化学物質
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
バーゼル法	データ無し
外為法	データ無し
港則法	キャッチオール規制

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

---

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報  
引用文献

オリジナルMSDS  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE  
職場のあんぜんサイト  
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

---

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くて良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)